

# その「物語」、の物語。

“ペログリ”的複眼思考の味わい vol.098

田中 康夫



たなかやすお ● 56年生まれ。新党日本代表、作家。'00年より長野県知事を2期務める。'07年に参議院議員に当選。'09年8月の衆議院選挙で兵庫8区から立候補し当選、1期務める。【公式ブログ】 [www.nippon-dream.com/](http://www.nippon-dream.com/)



レアメタル専門商社アドバンス・マテリアル・ジャパンを率いる長兄・中村繁夫氏は、ハイブリッド車に用いるディスプロシウム国内消費230年分の埋蔵量と喧伝される南鳥島「レアアース」開発こそ机上の空論と看破します。ディスプロシウムを含有するゼノタイム鉱石は既にオーストラリアやカナダで大規模採掘中です。鉱山開発は陸上に於いても、資源探査から生産開始まで優に20年を要します。況んや本州から1800kmも離れた日本最東端、水深

5000mもの海底に於いてをや。文部科学省傘下・独立行政法人海洋研究開発機構の周辺に集う学者と企業に『生活保護費』を数十年に亘って支給するが如き。言わずもがなの解説を加えれば、非鉄金属の中から鉄・銅・亜鉛・アルミニウム等のベースメタルと、金・銀・白金等の貴金属を除いた稀少金属が、31鉱種で構成されるレアメタル。その中の11鉱種が、希土類元素のレアアースです。レアメタルの代表格ニッケルの需要は、全世界で年間120万t。

ベースメタルの銅は1700万t。対してレアアースの市場規模は、年間僅か12万t。実は消費量も「レア」なのです。他方でレアアースの埋蔵量は少なくとも9900万t。内モンゴルの白雲鉱山に限っても3600万t。全世界需要の300年分に当たります。であればこそ、と仕事歴40年の中村氏は諷言します。山師ならぬ「海師」の甘言に釣られて南鳥島の深海に巨額の税金を注ぎ込む勿れ。レアアースを用いたHVV車や電池等の用途開発を他国に先駆け実現

してきた日本は、引き続き有為な研究者の育成にこそ傾注すべきと。レアアース資源を有する海外企業をM&Aする方が遙かに費用対効果は高く、大量発生する放射性廃棄物の残渣処理技術でも日本は世界に貢献すべきと。返す刀で、我々が抱く「中国Ⅱ大資源国家」の幻想をも打ち砕きます。レアアースに加えてタンングステン、アンチモニー、バナジウム等の資源量も生産量も世界一の中国は、豈にらんや、13億人の人口で割ると世界53番目の資源国家に過ぎぬと。であればこそ、不毛なナショナリズムを超えて、レアアース産業を基軸にハイテク産業の一大基地としての東アジア共同体構築を日本は敢行すべきと。

## レアアースを基軸に、東アジアでハイテク産業共同体の構築を

### 今週の逸品



### 麻辣米線 580円

庵に籠もり、科学の試験に受かるべく奮闘する夫に夜食を届ける妻が、土鍋で煮込んだ鶏肉の脂が保温効果を発揮して冷めない料理・過橋米線を考案したとの逸話に基づく。栄達への橋渡し、夫婦の架け橋を意味する。何れも580円の米線を味わう前に180円で大盛りの豆腐、280円の雲南キノコ、280円の手作り水餃子辺りをアテに麦酒を。炒飯、麻婆丼、雲南豆腐丼も。但し糟粕の妻の料理に非ず、栄達効果の程は不明。

【雲南米線】新宿区左門町13-2 小田ビル1F ☎03-6457-4898 ①11:30~15:30、17:30~23:00 無休 カード不可 <http://www.yunnanbeisen.com/>

illustration by Hajime Anzai



ミャンマー、ラオス、ヴェトナムと接する雲南省は人口4500万人。その3人に1人はレアアースならぬレアアースな、25に上る少数民族です。雲南省は同時に、ジャボニカ米とインディカ米の原種が発見された土地柄。四谷三丁目交差点から程近い「雲南米線」は、米で作った麺ミ米線を供する「過橋米線」のファストフード店です。茸が豊富で長寿な雲南省に肖ってキノコの混米線、鶏肉とキノコの米線。時流に合わせて坦々米線、写真の麻辣米線と豊富な品目。小鉢・御飯・餃子も充実。遅めの午餐、早めの夜食に推奨です。